



動物レスキュー通信

2020年2月 第81号 (令和2年2月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財團

詩月(しづく)：詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

意外に感じるかもしませんが、ケガや事故は室内で多く起っています。「異物誤飲事故」好奇心が旺盛な子犬・子ネ「に多く発生する傾向にあります。飼い主さんが留守で、「ンちゃん、ネ」「ちゃんだけになつた室内で発生する事が多く、動物病院への緊急搬送理由のトップであり、開腹手術を受けなくてはいけないケースも決して少なくはありません。おもちゃなどのプラスチック製品や飼い主さんやご家族が使用するための医薬品・靴下やタオルなどの布類や焼き鳥の串などを誤飲するケースが

室内でのケガや事故

2020年も早いもので、あつという間に
1ヶ月が過ぎてしましました。今シーズン
は暖冬だと言われていますが、とても寒い
日もありましたね。12月～3月は、ワンちゃん
やん、ネコちゃんのケガや事故が多い時期
だと言われています。なぜならクリスマス
にお正月などのイベントが多く、自宅に
も来客が増えたり、飼い主さん自身も外出
が増えるなどして愛犬、愛猫から自を離し
てしまふ時間が増える事が原因だと言わ
れています。又、当財団でも推奨していま
すが「ワンちゃん、ネコちゃん共に室内飼い
が主流となつて来た現在では飼い主さんと
の関係作りや健康管理などの面でのメリッ
トはたくさんありますが、その分、室内で
のケガや事故のトラブルが案外多く発生
しているのです。

犬猫との日常生活 多く発生するケガや事故



特に子犬の時には注意が必要です。ネコちゃんの場合にはワンちゃんよりも身体が柔軟であり、高い所に登つたり降りたりする事が得意なため、室内での骨折事故はあまり起こりませんが、ふとした時に高層マンションのベランダに出でてしまい、手すりに上りそのまま落として大けがをしたり、最悪の場合は命を落としてしまう大事故につながる可能性もあります。又、現代はフローリングの床を採用している家庭が多いですが、滑りやすいフローリングの床はワンちゃんネコちゃんの足腰に非常に負担をかける事になり、脱臼や関節炎の原因となります。この骨折や脱臼を防ぐには①室内の段差などに工夫。ワンちゃんがつまずきやすい段差にはスロープを付けてあげたり、ソファーなどのまわりには踏み台になるような物を置いて、そこから上がり下り出来るようにしてあげるといいでしょう。又、階段からの転落を防止するには、ペットゲートの設置をしてあげると有効です。②床を滑らないように工夫。滑りやすいフローリングの床には滑り止めのワックスを塗つてあげたり、カーペットを敷いてあげるなどすると予防になります。又、現在ではワンちゃん、ネコちゃんへの負担が少ない床材もありますので、床を貼り替えてあげる事も可能です。その他にも電気コードを噛んでしまい電してしまった事故、節つてある観葉植物をかじつてしまい中毒症状が出てしまう事故など、飼い主さんにとっては快適な部屋でも「ワンちゃん、ネコちゃん」とどうて室内は意外と危険が多く潜んでいます。